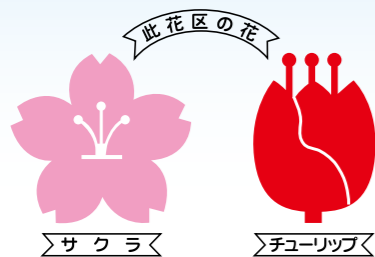


此花区の概要



■位置と情勢

淀川河口の南部に位置し、区域は東西に長く、南北に短い。面積は19.25平方キロメートルで、大阪市24区中第2位を占めている。北は淀川をへだてて西淀川区に相對し、東は福島区に接し、南は安治川を挟んで港区及び西区に臨み、西は大阪湾に面している。区内には正蓮寺川(埋立)・六軒家川・安治川等の河川があり、大阪湾には埋立によりできた舞洲・夢洲がある。



■沿革

此花区の土地が市部となったのは明治30年4月の第1次市域拡張の際で、それまでは西成郡に属していた。大正14年4月1日第2次市域拡張によって当時の北区及び西区の一部が合併して、第1次の此花区が生まれた。さらに、昭和18年4月1日の分増区によって、福島・西野田の地域が現在の福島区に分離される一方、西淀川区から伝法・高見の両地区が編入され、今日の此花区となった。

■区名の由来

大正14年、第一次此花区が創設された時、玉川区・福島区・朝日区・野田区・四貫島区などと地元から色々な案が出されたが、市会で議論百出の結果、最後に王仁(わに)博士が詠んだと伝えられる古歌「難波津に咲くやこの花 冬ごもり 今は春べと 咲くやこの花」から引用して此花区と名づけられた。

平成29年2月発行

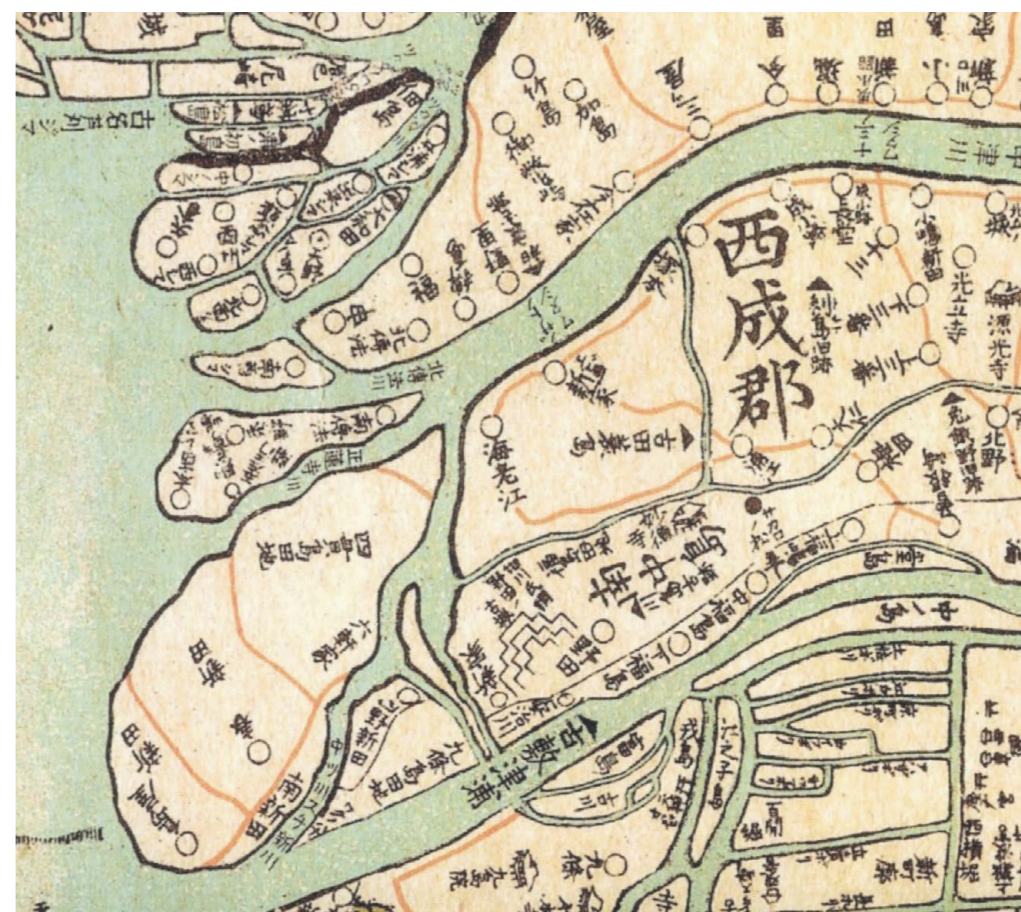
DATA 面積●19.25km² 世帯数●30,970世帯 人口●66,384人 (平成29年1月1日現在推計)

お問い合わせ 大阪市此花区役所 市民協働課(このはな魅力発信) TEL.06-6466-9502

此花区の古地図



『増修改正摂州大阪地図』の此花地域拡大図(天明9年(1789年))



『新改正攝津國名所舊跡細見大繪圖』の此花地域拡大図(天保7年(1836年))